



第7回東北糖尿病療養指導・薬学研究会

『体験して理解しよう！インスリン自己注射手技～』をテーマに、2025年12月20日に新潟薬科大学の朝倉俊成教授を講師に、中小企業活性化センター(AER6階)で研修会が開催され、76名の薬剤師、医師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士などが参加されました。インスリンの手技を理論的に学び、4種類のデバイスを比較しながら体験する機会となりました。



全体



グループ



注入



逆血体験



逆血が起きた状態



朝倉俊成教授



クリック音体験



注入ボタン体験



カードによる手技確認

インスリンのデバイスを4種類並べて注入ボタンの押し具合、クリック音などの違いを比較したり、インスリン注入時の逆血を体験しました。

逆血は知識では分かっているものの体験することはなかったので患者に指導しやすくなりました。さらに、これらのことと朝倉教授の研究結果などを踏まえて理論的に説明していただきました。

特に朝倉教授の『どのデバイスが良いのかということは、患者さんによって異なります。それぞれのデバイスの特徴を知って選択することが重要です。』といった発言がとても心に残りました。

編集後記

これまで知識として得ていたインスリンの手技は、パンフレットだけの情報を理解し、知っているつもりになっているように感じました。今回の研修会のような情報を多くの方に知っていただき、療養支援の糧にしていただきたいと思います。

文責:広報委員 佐藤伸輔